

公益財団法人
長岡市勤労者福祉サービスセンター
第一次中期計画 抜粋

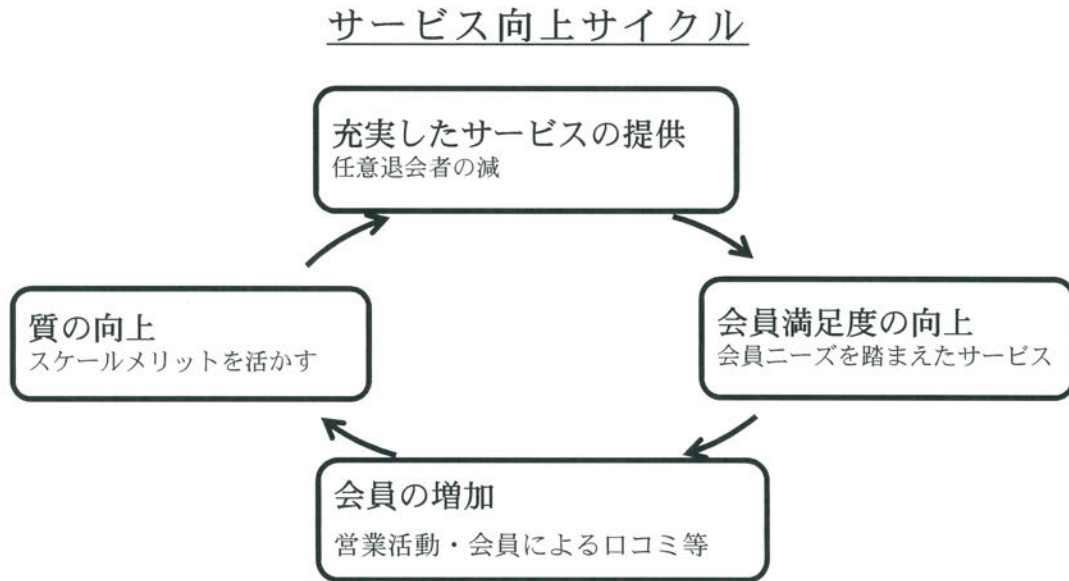
公益財団法人
長岡市勤労者福祉サービスセンター

平成28年4月

第一次 中期計画

I. 計画策定の目的

中小企業勤労者等の福祉の向上を図るとともに、経営の効率化・健全化を目指すことを目的とする。



II. 計画の位置付け

この計画は、今後のセンター運営における中期計画として位置付ける。

III 計画期間

計画期間は、平成28年度から平成32年度までの5年間とする。

IV 計画の内容

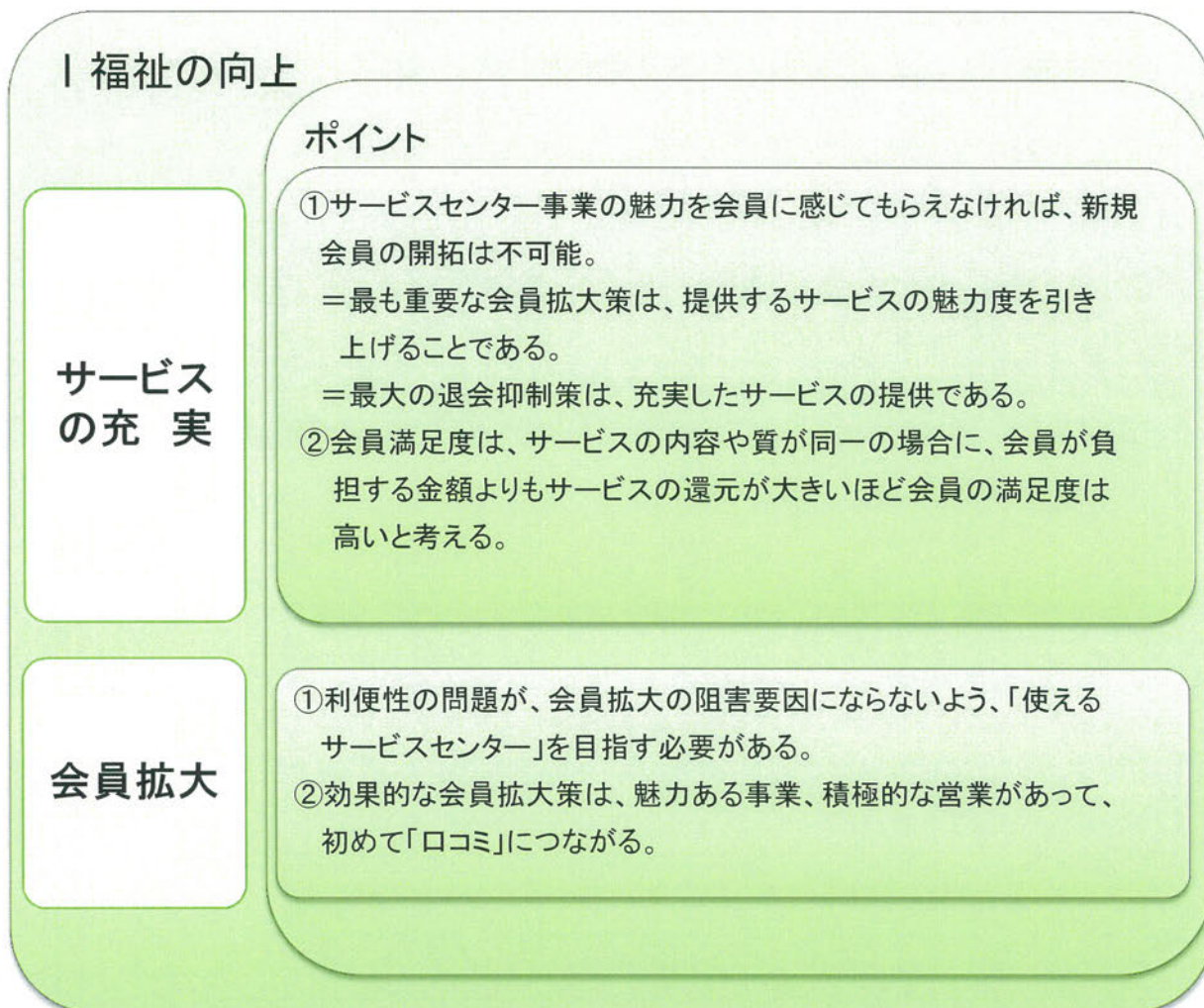
1. 運営の理念と目指す方向

生活向上の支援	会員及び中小企業勤労者等のニーズに合わせた多様かつ質の高い福利厚生サービスを提供し、勤労者の生活向上を支援します。
地域活性化に寄与	サービスの提供を通じて、中小企業の振興と地域社会の活性化に寄与します。
信頼される法人	仕事と生活の調和を図り、会員に「信頼される法人」を目指します。

2. 経営の効率化・健全化

経営の安定化	財政基盤の確保及び資産の安全・確実・有利な運用を図るとともに、職員のコミュニケーションの促進及び情報の共有を図り、安定的・戦略的な経営を行います。
---------------	---

VI 今後の取り組み



●具体的な取組み

項 目	事業年度				
	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
①サービスの充実 (各地域との連携による事業 近隣サービスセンターとの共同事業 新事業の企画 事業内容の見直し 会員証提示割引施設の増)					
○	→				
②会員のニーズ調査(アンケート等)			検討	○	
③広報誌等の充実(発行回数の増等)	検討	→ ○			
④利用しやすいサービスセンター 営業時間の延長等	検討	→ ○			
⑤会員拡大の取組み (各種団体への説明会の機会を設ける 「ナッキー応援団」の増員)					
○	→				
大企業等の受け入れ		検討	→		

II 経営の効率化・健全化

経営の 安定化

ポイント

- ①財政基盤の確保
ア、財源の確保 イ、経費の削減 ウ、資産の運用と管理
- ②公益性の高い事業の実施
- ③誰もが加入できる機会を確保する。
- ④地域の活性化に資する事業の実施に努める。
- ⑤広域化の検討

自立化の促進 (補助金の削減)

- ①会員拡大により増えた会費の内、1人当たり管理費相当額は、長岡市補助金の削減に充てる。
- ②1人当たり事業費を維持することで、サービス満足度の低下を防ぐことができる。

組織力の強化

- ①安定的・戦略的な経営を行うには、組織力の強化が必要。
- ②多様化する会員ニーズに応えた事業展開をさらに進めていくため、職員の資質の向上を図る。

●具体的な取組み

項 目	事業年度				
	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
①財源の確保					
会費収入の増	○	→	→	→	→
広告料見直し、送料等経費削減		検討	→	→	→
委託事業などの財源確保の方法			検討	→	→
②財産の安全・確実・有利な運用	○	→	→	→	→
③広報活動の充実					
パンフレット等設置個所の増	○	→	→	→	→
④地域の活性化に寄与					
不特定多数の市民を対象とした公益事業	○	→	→	→	→
⑤サービスセンターの広域化				検討	→
⑥長岡市補助金の削減					
会員増と新たな財源を確保することにより、補助金の削減に努める。	○	→	→	→	→
⑦組織力の強化					
職員体制の整備	○	→	→	→	→

Ⅶ 成果指標（実施計画の達成度を測るための指標）及び目標値

成果指標		計画策定時数値 (H26年度末)	目標数値 (H32年度末)
会員数	会員数	5,687人	6,500人
サービス	サービスの年間利用件数	1人 13.1回/年	1人 14回/年
	ホームページのアクセス数	28,648件/年	35,000件/年
	ナッキー限定サービス数	5件/年	10件/年
	不特定多数の市民を対象とした企画事業数	3件/年	4件/年
	指定店数	52事業所	70事業所
会員拡大	説明会の回数	3回/年	4回/年
	ナッキー応援団の人数	1人/年	3人/年
	パンフレットの設置箇所数	5箇所	10箇所
その他	職員の研修派遣回数	1回/年	3回/年
	有料の広告掲載数	25件/年	30件/年

Ⅷ 報 告

本計画の進捗状況については、理事会及び評議員会に適宜報告する。